

大学入試改革—高校学習指導要領改訂のポイント

共通テストへの反映、2024年度から

今夏に開催する教育セミナーでは、大学入試改革に加え、今年4月に告示された高校の学習指導要領もテーマとしている。大学入学共通テストでは2024年度から新課程に基づく試験に見直される。科目の構成や内容が大きく変わった教科をまとめた。

国語 実社会で生きる言語能力重視

国語は、必修科目が現在の「国語総合(4単位)」から、「現代の国語」(2単位)と「言語文化」(2単位)に分割された。以降に示したような、それぞれの科目の狙いを、より着実に実現させるためだ。

「現代の国語」は実社会で必要となる読解力や表現力を育成する。例えば「B書くこと」では、実社会の中からふさわしい題材を選び、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら伝えたいことを明確にする。また「C読むこと」では、文章や図表を読み取り、意図を解釈したり、論理展開を評価したりする。そのための指導として、理解・解釈した内容を文章から図表など別の形式に書き換える活動を掲げている。

一方、「言語文化」は漢文を含む古典や、近代以降の文学的文章を題材にして日本の言語文化への理解を深める。「B書くこと」では、本歌取りなどの技法を使って短歌や俳句を作ったり、伝統行事などの文化的な題材で随筆を書いたりする学習が取り組むことが盛り込まれた。

選択科目も大きく見直される。「現代の国語」と同様、実社会で生きる言語能力を重視し、「論理国語」と「国語表現」の2科目を必修とした。「文学国語」と「古典探究」は実用的な文章、「論理国語」は実用的な文章、社会的な話題について書かれた論文などを題材に、書いたり発表したりする内容。「国語表現」ではスピーチ、インタビューといった活動を取り入れ、企画書や報告書の作成も行う。

国語では教科全体を通じて、語彙の習得、主張と論拠の関係の理解など、情報を的確に理解し、効果的に表現する力の育成が目指されている。

大学入学共通テストの内容を占うプレテストの実施方針でも、問題作成の方針を「与えられた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、目的や場面に応じて文章を書いたりすることなどが求められる」としている。

外国語 4技能の統合的指導求める

小学校から正式な教科となった外国語は、高校ではこれまで以上に「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能の育成を重視する。また、今回から「話す」は「やり取り」と「発表」に分け、それぞれ異なる目標・内容を設定した。

高校生の英語力調査では、「話す」「書く」の力が課題があった他に、4技能をバランスよく身に付けるための指導も十分でなかったことが課題とされた。そのため、聞いたり読んだりした内容に基づいて話したり、書いたりする統合的な言語活動を積極的に取り入れることな

改訂後の科目構成は「英語コミュニケーションⅠⅡⅢ」と「英語コミュニケーションⅣ」に「英語コミュニケーションⅠ」は、中学校の学習内容を確実に定着させる内容も含んでおり、標準単位数は3単位ながら学校によって2単位に減らすことができる。

指導する語数も増える。英語コミュニケーションを通じて扱う語数は、現在の課程の1800語程度から、18000語程度に増える。実践的なコミュニケーションを重視する。求められている。

新学習指導要領は「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を統合的に指導する。目標や実際の言語使用場面と具体的な言語活動も明記されており、教員の授業改善を促す色合いが強いのが特徴だ。

大学入学共通テストでは民間の資格・検定試験を使って4技能を測る予定で、入試を理由に用いた文法・読解中心の授業は通用しなくなる。高校間で対応に差が生まれないよう、新課程の目標に沿った授業改善が高校に求められる。

公民 主権者教育の役割担う「公共」

「現代社会」に代わり公民の必修科目になる新科目「公共」は、グローバル化する国際社会の中で主体的に社会に関わり生きようとする態度や、そこで求められる資質・能力の育成を目指す。選挙権や成人年齢の18歳引き下げに伴い、「公共」が担う役割は大きくなる。

内容は、初めに公共的な空間と人間の尊厳・平等などを取り上げる。次に法や政治、経済などを主題に扱い、最後に持続可能な社会づくりについて、自分の考えを説明したり、論述したりする。

「公共」は現実社会にある課題解決の力を育てるため、討論やディベート、模擬選挙、模擬裁判など授業で取り組むべきさまざまな活動も例示している。

その一方で、教えるべき内容は多岐にわたる。例えば「法、政治、経済」な

「公共」で身に付けた力を基に、選択科目の「倫理」と「政治・経済」を学ぶ。「倫理」は、古今東西の思想家の考えをたどり、人間の生き方などを深く考える。

「政治・経済」では、社会の課題について、政治・経済を総合的に探究する。

大学入学共通テストでは「公共」がどのような出題になるのか注目される。



選挙権年齢が引き下げられ、初めて高校生が投票した2016年の参院選。写真は期日前投票所で投票する千葉県立富里高校の生徒

地理歴史 近代日本・世界史を「総合」で

今回の改訂の中で、最も大きく変わるのは地理歴史だろう。現在の必修は世界史と、日本史・地理から選択で選ぶことになっているが、新課程では「地理総合」と「歴史総合」が必修科目になる。

二つの総合科目は、ともにグローバル化する国際社会の中で、平和で民主的な国家や社会を形成する資質・能力を育てることを目標としている。

「地理総合」は三つの内容で構成。地理情報システム(GIS)を使った課題解決活動に取り組みながら国家間の結びつきなどを学ぶ。「A 地図や地理情報システムによる問題解決の学習などを全ての生徒が学ぶことになる。

「歴史総合」は18世紀以降の近代史について、日本と世界を関連付けて学ぶ科目。四つの単元で、アジアと欧米諸国の関係(二つの世界大戦と経済危機、冷戦後の国際政治の変容)などを扱う。

現在の世界史・日本史のA科目を合わせたような内容だが、扱う時代の範囲が狭くなるため、一部の教員からは歴史的事象の背景や関連をより深く指導できると歓迎する声もある。ただ、専門科目で担当が分かれていた現在の高校の指導体制で、どこまで対応できるのか課題は残る。専門として教員の少ない地理も同様だ。

選択科目は「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」の3科目が新設される。現行のそれぞれのB科目の後継となる。大学入学共通テストで「歴史総合」や「地理総合」、公民の「公共」などの必修科目が出題されるのは2024年度から。入試センターでは記述式問題を導入する方向で検討を進めている。

情報 全生徒がプログラミング学ぶ

小学校では複数の教科の中で、プログラミングの基礎を扱うことになった情報教育。高校の情報では、プログラミングやシミュレーションによる問題解決の学習などを全ての生徒が学ぶことになる。

現行では、情報化が社会に及ぼす影響について学ぶ「社会と情報」と、プログラミングを含む「情報の科学」のいずれか1科目の選択必修だったが、「情報の科学」の履修は約2割にとどまっている。

新課程では、卒業後の進路にかかわらず、情報活用能力を育てる必要があるとして、プログラミングの学習を含む新設科目「情報の科学」を必修にし、その上で発展科目の「情報II」を設けた。

「情報I」は、情報モラルやデータ収集と分析も学習する。「情報II」では、文字、音声、静止画、動画を組み合わせたコンテンツの作成や、データサイエンスの手法を使った現象のモデリングを扱う。

政府が6月に閣議決定した「未来投資戦略2018」では、2024年度から大学入学共通テストで「情報I」を出題することについて、本年度中に検討を始めることを盛り込んだ。コンピュータ方式(CBT)での実施を視野に入れている。

ただ、高校の情報科担当教員は、免許外教科担任が約3割を占めており、今後、自治体では専門教員の育成と配置が課題になりそうだ。

新学習指導要領で示された主な教科・科目

数字は標準単位数、○は必修科目

現行	新課程
国語総合 4	現代の国語 2 ○
国語表現 3	言語文化 2 ○
現代文A 2	論理国語 4
現代文B 4	文学国語 4
古典A 2	国語表現 4
古典B 4	古典探究 4
世界史A 2	地理総合 2 ○
世界史B 4	地理探究 3
日本史A 2	歴史総合 2 ○
日本史B 4	日本史探究 3
地理A 2	世界史探究 3
地理B 4	公共 2 ○
現代社会 2	倫理 2
倫理 2	政治・経済 2
政治・経済 2	英語コミュニケーションI 3 ○2単位可
コミュニケーション英語基礎 2	英語コミュニケーションII 4
コミュニケーション英語I 3	英語コミュニケーションIII 4
コミュニケーション英語II 4	論理・表現I 2
コミュニケーション英語III 4	論理・表現II 2
英語表現I 2	論理・表現III 2
英語表現II 4	情報I 2 ○
英語会話 2	情報II 2
社会と情報 2	総合的な探究の時間 3~6 ○2単位可
情報の科学 2	
総合的な学習の時間 3~6	

2018 第5回 夏の教育セミナー

新学習指導要領と大学入試改革

主催：日本教育新聞社 / 株式会社 ナガセ (東進ハイスクール・東進衛星予備校)

この夏8月に、全国12都市で開催!

昨年8月、全国12会場で「夏の教育セミナー」を開催。約5,000名の先生方にご来場いただきました。今年も大盛況が予想されます。ぜひご参加ください!

5年目となる今年はより実践型へ!

定員制 お申し込み受付中!

夏の教育セミナー kyoiku-sakidori.com 夏の教育セミナー 検索

*プログラム詳細は順次公開いたします。ウェブサイトをご確認ください。

全国12都市・会場にて、順次開催いたします。お近くの会場へ、ぜひご参加ください。

開催日	会場	開催地・日程
8/1*	仙台	[会場] TKPガーデンシティ仙台
8/2*	大宮	[会場] パレスホテル大宮
8/3*	東京	[会場] ベルサール新宿グランド
8/4*	札幌	[会場] 札幌コンベンションセンター
8/6*	福岡	[会場] ヒルトン福岡シーホーク
8/7*	広島	[会場] 広島コンベンションホール
8/8*	横浜	[会場] 横浜ロイヤルパークホテル
8/9*	大阪	[会場] コンプレックスセンター
8/10*	金沢	[会場] ANAクラウンプラザホテル金沢
8/17*	神戸	[会場] ホテルオークラ神戸
8/20*	千葉	[会場] 三井ガーデンホテル千葉
8/21*	名古屋	[会場] 名古屋観光ホテル